

事業計画書

事業名	みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業
団体名	エディブルウェイプロジェクトチーム

事業概要	
沿道の住宅前や店舗前等で、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」づくりを通して、住民の交流を促進し、人と人のつながりやコミュニティの輪を広げる。植物クラフトづくりから、地域環境を学び合う場を創出する。	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>新型コロナウィルス感染予防のため、外出を控え、対面での交流を減らす等の対策がとられてきました。プロジェクトの中心地域である松戸三丁目東自治会でも各イベントが中止になっています。日本老年学的評価研究は、社会的孤立や閉じこもりが高齢者の健康リスクを高めることを指摘しています。ウィルス対策が長期化する中、いかに社会的距離を保ち、コミュニケーションがとれるかが今後の地域社会において、重要な課題と考えられます。</p> <p>私たちは、2016年より、コミュニケーションを促し、コミュニティの形成に寄与するとされる「食べられる景観」づくりを行なってきました。コロナ禍において沿道での園芸活動は、近所同士の挨拶程度の交流の維持、プランターを見て楽しむ、歩行を促し健康維持への貢献、植物が育つ様子を見ることで、参加者同士の間接的なコミュニケーション等に役立っています。</p> <p>園芸活動、植物を使ったものづくり活動を媒介にした直接的・間接的なコミュニケーションから、コロナ禍の地域において人のつながりが分断されない健康的な生活環境づくりに取り組みたいと考えています。</p>
事業の目的	野菜やハーブを用いたユニークな景観づくりと沿道でのコミュニケーション機会の創出から、日常的に挨拶できるひ近所づきあいを増やすこと。また、育てた植物を使ったものづくりを通じ、地域環境を学び合う機会や、多世代での交流の機会をつくること。そして、コロナ禍の地域においても、人のつながりが分断されない地域を目的としています。
事業内容	<p>1. 事業内容</p> <p>年間を通じて、野菜やハーブを育て、食べられる景観づくりを行います。また、各講座(1)(2)(3)は、外部講師を招き、地域での学び合いの場を充実させます。各回とも、新型コロナウィルス感染症予防対策を行い、実施します。</p> <p>(1) プランターへ苗植え講座開催と植え替え活動（4-5月・9-10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度から、沿道の住宅・店舗だけではなく、これまで要望があったマンション住民のベランダでの参加をサポート会員として募る。SNSで菜園活動の情報発信や植え替えサポートを条件とする。 ・苗の植え方講座を開き、野菜の育て方を学ぶ。（会場・zoom併用で開催） ・高齢者宅など、必要に応じ、植え替えサポートを行う。サポートは、サポート会員や、地域で中高生ボランティアを募り、実施する。 <p>(2) 子ども向けクラフトワークショップ（以下WSと記載）の開催（6・11月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物クラフト WSを開催し、ものづくりを通した学びと交流の場を設ける。 <p>(3) ハーブクラフト講座（7・12月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人向けにハーブを活用した講座を行い、ハーブの使い方、楽しみ方を学ぶことで、活動への意欲向上と交流を進める。

	<p>(4)情報発信：千葉大学学生有志グループみどりの回廊ワーキンググループと発行する瓦版への毎月の掲載・配布。SNS、ホームページでの情報発信。</p> <p>(5)アウトプット作成：1年間の活動の振り返りをし、冊子を作成し、参加者、地域住民に配布し、活動への理解と参加・協働を促進する。</p>															
	<h2>2. スケジュール</h2> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th><th>具体的な取り組み</th><th>①実施体制、②対象、③場所など</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4~5月・ 9~10月</td><td>講座準備、チラシ配布による告知、新規参加者・学生メンバー募集、(1)苗植え講座、植え替え</td><td>①実施体制：会員有志、外部講師、②対象：EW 参加者、③場所：松戸三丁目東自治会館または市民会館</td></tr> <tr> <td>6月・ 11月</td><td>(2)クラフト WS 開催</td><td>①会員有志、外部講師、②EW 参加者、地域の小学生、③自治会館または市民会館</td></tr> <tr> <td>7月・ 12月</td><td>(3)ハーブクラフト講座開催</td><td>①会員有志、外部講師、②EW 参加者、地域住民、③自治会館または市民会館</td></tr> <tr> <td>1~3月</td><td>振り返り・アウトプット作成・地域へ報告</td><td>①会員有志、②会員・地域住民</td></tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	①実施体制、②対象、③場所など	4~5月・ 9~10月	講座準備、チラシ配布による告知、新規参加者・学生メンバー募集、(1)苗植え講座、植え替え	①実施体制：会員有志、外部講師、②対象：EW 参加者、③場所：松戸三丁目東自治会館または市民会館	6月・ 11月	(2)クラフト WS 開催	①会員有志、外部講師、②EW 参加者、地域の小学生、③自治会館または市民会館	7月・ 12月	(3)ハーブクラフト講座開催	①会員有志、外部講師、②EW 参加者、地域住民、③自治会館または市民会館	1~3月	振り返り・アウトプット作成・地域へ報告	①会員有志、②会員・地域住民
実施月	具体的な取り組み	①実施体制、②対象、③場所など														
4~5月・ 9~10月	講座準備、チラシ配布による告知、新規参加者・学生メンバー募集、(1)苗植え講座、植え替え	①実施体制：会員有志、外部講師、②対象：EW 参加者、③場所：松戸三丁目東自治会館または市民会館														
6月・ 11月	(2)クラフト WS 開催	①会員有志、外部講師、②EW 参加者、地域の小学生、③自治会館または市民会館														
7月・ 12月	(3)ハーブクラフト講座開催	①会員有志、外部講師、②EW 参加者、地域住民、③自治会館または市民会館														
1~3月	振り返り・アウトプット作成・地域へ報告	①会員有志、②会員・地域住民														
既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)	<p>これまでの活動は、プランター栽培の参加者を沿道にプランターを設置できる住宅・事業所に限定し、景観づくりをメインに行ってきました。沿道での景観づくりは活動のコアな部分として継続し、人とのつながりをさらに地域に広げるために、これまでも要望があったマンション住民のベランダでの参加をサポーター会員として設定し、会員の幅を広げる。マンション住民は地域では新住民で、若い世代が多く、地域とのつながりが希薄であることが多い。サポーター会員には、菜園活動の SNS での発信、沿道の高齢者参加者の植え替えやイベントに協力してもらう。これにより、協働とコミュニティの輪を多世代へ広げることや、活動の持続性の向上が期待できる。</p> <p>各講座に、専門的な知識を持つ外部講師を招くことで、景観づくりとしても、学びの場づくりとしても、より充実した講座を提供する。講座で得られた知識は、これまでの活動とともに、今後の活動の発展性や継続性のためにアウトプットへまとめ、地域住民や、食べられる景観づくりに関心のある市民に共有し、身近な地域環境づくりの啓蒙活動につなげる。</p>															
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> 新しい参加者を募り、プランターの設置場所を増やし、沿道での緑のつながりが、より見えるようにする。(新規 10箇所) サポーター会員を募り（新規 15世帯目標）、沿道以外の住民の参加の機会を増やし、地域コミュニティの輪を拡大する。 コロナ禍で、人が集まる機会が減った地域において、沿道で見て楽しむ、歩く楽しみを提供する。 植物を用いたイベントの開催を行い、学びや交流の場づくりを通して、活動を継続するための知識共有や組織づくりを進める。 															
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 食べられる景観づくりの地域景観や活動としての定着。 松戸市内へも、食べられる景観づくりの普及啓発を行う。 コロナ禍においても人のつながりが分断されない健康的な生活環境のあり方を地域の皆さんと考えていく。 植物を活用する活動を通じ、地域環境を学び合う場づくりの創出を行う。 															

事業の予算概要

【収入】

(単位:円)

科 目		金 額	積算内訳
団体	イベント(WS・講座)参加費	¥ 60,000	植え替え講座、クラフト・アートWS、ハーブ講座 各2回 (500円*20人)6回開催
	団体拠出金	¥ 13,540	対象事業費の一部及び対象経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 73,540	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額(C)=(A+B)		¥ 373,540	

【支 出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	講座外部講師謝礼金(15,000円*6回)
	消耗品費	¥ 143,300	[プランター栽培] ・フェルトプランター(400円*40個) ・プランターロゴ印刷シルクスクリーン版(3000円) ・シルクスクリーンインク(3000円*2個) ・土再生材 5L(400円*60個) ・野菜苗(200円*50個) ・タネ(300円*20個) [クラフト] ・クラフト材料費(フェルト、蜜蝋、麻紐など)(5000円*2回) ・クラフト道具類一式(ナイフ、工具等)5000円 ・ハーブクラフト材料費(花材、アロマオイルなど)(5000円*2回) ・ハーブクラフト道具類(ボウル、ビーカーなど)5000円 [活動全般] ・プリンタートナー(告知チラシ、講座・WS資料等印刷)(4200円*4色) ・腕章(ボランティア用)(500円*6個) ・エプロン(スタッフ用)(1500円*6個) ・参考書籍(園芸・クラフト等)(2000円*3冊) ・台車(8500円) ・文具類一式(付箋、封筒、コピー用紙等)5000円
	使用料及び賃借料	¥ 25,200	zoom(2ヶ月分)(講座(1)2回)2000円*2回 ・モバイルWi-Fi(1泊2日 * 講座(1)2回)1000円*2回 ・自治会館(イベント6回・準備&打ち合わせ6回)1600円*12回
	食糧費	¥ 12,600	・参加者お茶代(100円*20人) * 6回 ・講師お茶代(100円*6回)
	通信運搬費	¥ 4,200	・植え替え時アンケート回収用切手 84円* 25世帯(メールなし)*2回
	印刷製本費	¥ 62,000	・瓦版印刷費(A4両面カラー・プリントネット)10円*100部*12ヶ月 ・アウトプット冊子印刷製本(A5・20ページ)80円*500部 ・活動広報チラシ(A4両面カラー)10円*1,000部
	保険料	¥ 2,240	・ワークショップ保険料 20名まで560円*4回
	対象経費の合計(D)	¥ 339,540	
	お弁当代	¥ 12,000	講座・植え替えサポートスタッフ・ボランティア 500円*12名*2回
	交通費	¥ 17,000	・植え替え資材運搬レンタカー(4000円*2回) ・スタッフ電車代(3名分往復1500円*イベント6回)
その他経費	使用料及び賃借料	¥ 5,000	・ホームページサーバレンタル年間 3000円 ・ホームページドメイン年間 2000円
	その他経費の合計(E)	¥ 34,000	
合計額(F)=(D+E)		¥ 373,540	

【チェック項目】

- 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。